
黒色な私、桃色な妹と親友

甘味処

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒色な私、桃色な妹と親友

【Nコード】

N8156Z

【作者名】

甘味処

【あらすじ】

注意！！ - - - - - 現在テスト投稿を行っています。 - -

- - - - -
女主人公がファンタジーな世界に転生。前世の知識と転生後の妹と親友と力を合わせて平和にゆっくりと過ごすために…とりあえず国を乗っ取る話。

01 - 主人公誕生 - (前書き)

本作品は、「女性が主人公」、「ファンタジー」、「主人公最強」、「百合」、「転生」、「ハーレム(2人)」、「主人公が黒い」、「妹と親友が桃色(頭の中の的な意味で)」などの要素が含まれます。また、作者の処女作であり、努力は致しますが様々な不備があると思われます。

以上の事項に不快感などを感じるかたは本投稿をお奨めはできません。

..... 最初の記憶、それ
..... は深い青色の世界。

空間に満たされる青い色は、幾重にも折り重なって、その色を深くしている。
気がついたら、私はそこにいた。

深い、深い青。

ここがどこなのだから、分からない。感じ取れることは視界を埋め尽くす青色とやけに響く音のない音。

足は地に着かないが、ゆったりとした重力を感じる。

ふいに、自分の置かれた状況にひとつ見当がついた。

- - -
- - -
- - - 水の中？
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -
- - -

口から漏れ出した言葉はこぼりと気泡となって青色が薄い方向、水面に吸い込まれていく。
思いつきは確信に変わる。どうやら自分は水中にいて、すこしずつ水底に落ちているのだ。

そして、なぜだか落ちていくたびに自分の中の何かが消えていく気がする。
けれども消えていく自分が既に酷くあやふやで「自分」の実感が全く無い。
恐怖は感じられなかった。

気泡が吸い込まれた方に目を向けると、光が差し込んでいた。
揺れる光に一時として同じ表情を見せない水面を下から見上げる。

その後、口から吐き出された言葉は、意味がないまるで「赤ん坊」のような泣き声だった。

01 - 主人公誕生 - (後書き)

意味が分からない方へ、本投稿文は簡潔に言おうと

「一度死んだ主人公が前世の記憶の初期化を完全にする前に生まれ変わってしまった」という内容です

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8156z/>

黒色な私、桃色な妹と親友

2011年12月25日23時51分発行